

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	LEIF 手稲		公表日	令和8年 3月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	活動スペース確保のため使用した机を片付ける。荷物置き場の省スペース化	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員が配置数は適切であるか。	2	3	児童が話しやすいと感じる職員を配置している	支援者が足りないと感じます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、保護者の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	入室からの動線を見える化している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	2	3		気持ちや機嫌よく過ごせるように環境を要する
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1		別室がもう一つあるとよりこどもの対応などスムーズにできる事がえと感した
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	4	1		
	7	保護者向け研修等により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	保護者からのアンケートを全体に周知して、いつでも回収できるようにしている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	1週間に1回のMTと毎日の申し送りを実施	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1		外部の研修には参加しているが、頻度は多くないので十分ではない
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	中間評価や計画立案のタイミングで相談を実施し、ニーズの把握をしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの個々の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		子どもの支援について、各専門職から意見を聞いていると思う
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		基本的には目標は意識されているが、細かい支援内容に沿ってという部分は足りないと思う。
	15	こどもの遊び行動の観察を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスソフトウェアの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域連携・地域連携」のから及び支援内容が記載されている。こどもの支援に必要な項目が適切に記述されており、その上	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2		サッカーがメインとなるため、経験者による活動プログラムの立案となっている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		勤務時間が異なるため、緊急性がある時しかできていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力をつけているか。	5	0		子どもが解放その活動を選択したのかは聞くようにして、その後修正をするときもある。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	5	0		児童館が参加している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、施設訪問（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		主に保護者とのやり取りとなっているが、必要に応じて学校とやり取りをするようにしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を図っているか。	0	5		関係系を深められるようにしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	4	1		当事業所は6年生で卒業となるため、実質的に行ってない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		地域支援でネーチャーから意見をもらっている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		関係連携を構築していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		積極的に参加するように努める
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1		預かり保育のような感覚の保護者もいるので、連携が取りにくい場面も複数あるとんじる。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		体験時に契約につきなりそうならば、その時点でお伝えしている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考案の観点に沿って、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		先に支援を受ける本人(児童)と面談を行い、希望を聞いた上でその後保護者との面談や、送迎時に聞き取りや共有を行う。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		会える保護者には配布の際に、簡単な説明を行う。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言や支援を行っているか。	5	0		相談があれば、メール、電話などを活用しながら対応している。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0		活動の様子を見てもらったり、親子参加型イベントを実施している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1		苦情が寄せられた際には、管理者及び児童館が迅速に事実確認をしたのち対応している。
	42	定期的に連絡等を実施することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		子どもの気持ちや意見を伝えているが、保護者が本当に理解しているかは不明。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	2	3		インクルージョンを強化していく
非常時の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		訓練はできていない。課題である。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	5	0		服薬状況、アレルギーについては十分に注意
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示に基づき対応がされているか。	4	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		